

瑞穂市図書館だより

「読書のまち みずほ」をめざして、子どもの読書活動を推進しています。

2024. 04 第95号

本館 058-326-2300

分館 058-328-7070

4月に入り、ようやく春らしくなりましたね。晴れた日は暖かい春の日差しが心地よく、とても過ごしやすい季節となりました。寒くて縮こまっていた私たちの体や心が一気に和らぎます。

今年度、分館は開館“20年”を迎えます。これからも変わらず瑞穂市図書館をよろしくお願いいたします。



4月のイベントカレンダー

<https://www.library-mizuho-gifu.jp>



日	月	火	水	木	金	土
	1 休館日	2	3	4	5	6 ＜分館＞ おはなしの会
7	8 休館日	9	10	11	12 ＜本館＞ おはなしの会	13 ＜分館＞ おはなしの会
14	15 休館日	16	17	18	19	20 ＜分館＞ おはなしの会
21	22 休館日	23	24	25	26 ＜分館＞ おはなしの会	27 ＜分館＞ おはなしの会 ＜本館＞ おりがみ教室 整理券配布
28	29	30 休館日				
「おはなしの会」 「未就園児向けおはなしの会」 「映画鑑賞会」 【分館】 毎週土曜日 14：30～ 絵本フロア 【本館】 第2金曜日 10：30～ おはなし室 【分館】 第4金曜日 10：30～ 絵本フロア 【本館】 5/19、9/15、12/15、3/16 10：30～ 2階・学習室 定員20名						



新刊PICKUP!

一般・児童



『かざらないひと』

本館所蔵

月と文社//編 <281.0/カ>

「自分を飾る」という行為には興味を持たず、自分の価値観の海のなかを、自分のペースで泳いでいる—そんな「かざらない」ひとたちが自分を確立できている理由を、根堀り葉堀り紐解いています。アナウンサーの赤江珠緒、料理人のタサン志麻ら、5人の女性の言葉や価値観を伝えるフォト&インタビュー集です。



『僕らは戦争を知らない』

両館所蔵

Gakken <児/319/ホ>

中学3年生の涼太は、ウクライナから同じクラスに転入してきたアンナと交流するうちに、自分が戦争のことを何も知らないことに気が付きます。この本では、マンガと図解やイラストをまじえて戦争をわかりやすく解説しています。“世界中の不条理をなくすためにキミができること”を考えるきっかけになる1冊です。

※他にもまだまだあります♪ 一般(毎週土曜日発行)・児童(隔週土曜日発行)の新刊案内をご覧ください。両館お取り寄せできます。貸出中の場合は、予約できます。お気軽にお尋ねください。



『はじめてでもきれいに書ける寄席文字』

本館所蔵

春亭 右乃香//監修 <727.8/ハ>

江戸時代に寄席のPRのために配られたビラの文字がルーツと言われる『寄席文字』。客席が満員御礼になるようにという願いが文字にこめられているので「縁起文字」と言われます。

本書では、寄席文字を筆づかいの基本から暮らしに生かすアイデアまで紹介しています。寄席の楽しい空気を感じてみませんか。



『きょうはおやすみします がっこうのてんこちゃん』

両館所蔵

ほそかわ てんてん//さく <児/913/ホ>

今日はなんとなく学校に行きたくないなあって思っていたら、ほんとうに熱が出ていたの、でもなんとなくおちつかない・・・ある朝また学校に行きたくないなと思いました。勇気を出してお父さんとお母さんに「べつになにもないの。なんとなく行きたくないの」と伝えたと、ふたりは思いがけない反応をします。

本館 テーマブック

今月のテーマ
『大正浪漫』

年号が平成から令和に変わり、平成も懐かしい時代と言われるようになってきました。「昭和レトロ」につづき「平成レトロ」という言葉も聞きます。では、元祖年号〇〇「大正ロマン」とは、どんな時代だったのでしょうか。本を通して当時の雰囲気を覗いてみませんか？

『大正ロマン手帖ノスタルジック&モダンの世界』

本館所蔵

石川 桂子//編 <210.6/タ>



『大正時代 現代を読みとく大正の事件簿』

本館所蔵

永沢 道雄//著 <210.6/ナ>



『花物語 上』

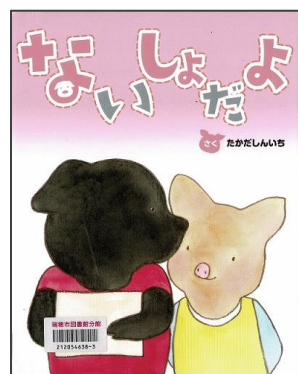
本館所蔵

吉屋 信子//著 <913.6/ヨ/1>



分館 テーマブック

今月のテーマ
『春・おかあさん・
こいのぼり・パンの本』



『ないしょだよ』

分館所蔵

たかだ しんいち//作<E/タ>

今日は母の日です。お母さんが買い物に行っている間、お父さんと子どもたちは、お母さんにないしょでプレゼントを準備しています。カーネーションを買ってきて、それからパンケーキも焼いてみよう！ところが完成する前にお母さんが帰ってきてしまい…

ぶたの家族のやりとりにはっこりするお話です。

リブ
L・I・B

ヤングアダルト

YA向け おすすめの本



『ジンリキシャングリラ』

本館所蔵

山本 幸久//著 <913.6/ヤ>

野球部を退部となった高校1年の雄大は、偶然出会った先輩に誘われ『人力車部』に入部することになるのですが、そこには車夫と制作チームに分かれて活動する個性豊かな面々がいました。絶縁状態だった祖父母との再会、父親との絆、仲間たちとの友情、初恋…。北陸の地方都市を舞台に、人力車に青春をささげる雄大の笑いと涙の物語です。



『3年間ホケツだった僕がドイツで
サッカー指導者になった話』

分館所蔵

中野 吉之伴//作 <783.4/ナ>

小中学校野球部・高校サッカー部でほとんど公式戦出場なしの著者は、ドイツのサッカースクールでの体験と大学の同好会でサッカーの本当の楽しさを知りました。大学卒業後グラスツールサッカーの指導者を目指してドイツに渡ります。好きなことをあきらめないでチャレンジしようと語ります。

図書館にはこんな紙芝居もあります

私たちが暮らすまちには どんな昔話があるのでしょうか。
6つの紙芝居で 地元に伝わるおはなしを ぜひ楽しんでみませんか。



『おちちでら』 只越



『天王川のばけもの』 生達



『野白のきつね』 野白新田



『長良川のなみた鮎』 只越



『ばけがめたいじ』 別府



『むかい地蔵』 十九条・古橋

この紙芝居は
清美高校の生徒たちが
作成してくれたものです